

たらよいか。

- 開発によって失われる文化遺産を保護するにはどうすればよいか。

⑥ 現地研修

如宝寺・開成館・安積高校・梅田横穴

(4) 日本伝統工芸秀作展

重要無形文化財保持者等が製作した伝統的な工芸品のうちから、特に優秀なものを公開して、無形文化財の理解と普及に資することを目的に、県教育委員会・会津若松市・同教育委員会・会津美術協会・日本工芸会主催、文化庁後援のもとに次のとおり実施した。

- ① 期 日 44年6月1日～6月8日
- ② 会 場 会津若松市公民館
- ③ 出 品 陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形
その他 計 116点
- ④ 入 場 者 1,650名

(5) 福島県の文化財展

県内のすぐれた文化財を一室に展示し、その理解を深めるとともに、文化財の愛護と郷土を愛する心を育てることをねらいとして、FTV主催、県教育委員会・郡山市教育委員会の後援で実施した。

- ① 期 日 12月3日～14日
- ② 場 所 郡山市 第2うすい6階
- ③ 出 品 国宝1 重要文化財20 県指定文化財25
未指定7
- ④ 入 場 者 15,000名

(6) 文化財愛護地域活動

文化財愛護地域活動を全国的に普及するため、文化庁において、文化財愛護モデル市町村を選定したが、本県から「郡山市」「会津若松市」が指定を受け、それぞれ地域に即応した活動を実施した。

(7) 「文化財読本」および「指導の手引」の編集刊行

文化財は、祖先の文化的な営みの所産で、郷土を理解し、精神の向上をはかるうえに欠くことのできないものである。そこで学校教育や社会教育の場において、郷土に伝わる文化財の理解を深め、これを尊重・愛護する精神を育成することにより、郷土愛のかん養に資するため文化財読本を編集刊行した。

- 部数 文化財読本5万部 文化財読本指導の手引き 7千部
- 配布 小学校・中学校・高校・大学・公民館・その他
- 編集委員および執筆者
池下泰弘・西沢長吉・風間覚雄・辺見正治・渡部宏・王子叶・佐藤善右衛門・高田進・平井博・梅宮茂・三本杉巳代治・岩崎敏夫・吉岡邦二・菊地貴晴・蜂谷剛・草野和夫・渡辺一雄・鈴木勝枝・色摩勝夫・鈴木一・菅原文也・懸田弘訓・三浦利秋・深谷一栄

(8) 文化財資料の刊行

- 県指定文化財調査報告書
- 西郷の民俗
- 尾瀬の保護と復元
- 福島県の民家
- 東北縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査概報8冊
- 母畑開拓事業遺跡発掘予備調査概報
- 東北自動車道関連公共事業遺跡発掘予備調査概報

(9) 銃砲刀剣類の登録

銃砲刀剣類所持等取締法に基づく、銃砲刀剣類の登録ならびに登録証再交付、所有者変更届の件数は、次のとおりである。

- ① 登録審査の状況(下表のとおり)
- ② 再交付件数 60件
- ③ 所有者変更届出件数 800件

期 日	開催場所	審査委員	登録件数	備 考
5月20日	郡 山 市	中沢・宇井・平原	377	
6月27日	会津若松市	鈴 木・平 原	337	
7月11日	いわき市平	佐 藤・宇 井	346	
8月1日	福 島 市	平 原・宇 井	379	
9月5日	喜多方市	鈴 木・中 沢	138	
10月14日	原 町 市	佐 藤・平 原	162	
11月5日	田 島 町	鈴 木・平 原	83	
11月24日	白 河 市	佐 藤・中 沢	189	
1月20日	二本松市	宇 井・中 沢	289	
計			2,300	